

# 平成 25 年度 事業報告

## 1. 栄養の科学と技術の振興事業

県民の健康・食事の実態等と栄養指導・食事療法に関する調査・研究・技術開発、郷土料理の研究や料理・献立の創作等による食文化の発展的承継に資する活動、及び、県等の健康政策立案への貢献などをおして、食と栄養の科学および実用技術を振興させる事業であり、当会ホームページにて郷土料理の紹介を行った。

今年度の事業は以下の通りである。

### ・第 39 回福岡県栄養改善学会

栄養指導・食事療法（栄養管理）に関する調査研究および業務上で成果があった事例や施設における新しい試み（実践）など、（11 演題）管理栄養士・栄養士からの研究発表が行われ、また、健康日本 21(第 2 次)についての講演を、厚生労働省健康増進課河野室長していただき、参加者も 500 名近くあり、健康日本 21(第 2 次)に対する関心の高さがうかがえた。開催日：10 月 5 日(土)】

## 2. 県民の健康づくりの担い手となる人材の育成

県民が、質の高い栄養指導及び食事療法を身近に受けることができるように、本事業は高度の専門的スキルとともに、一人ひとりのかけがえのない命を尊び慈しむ姿勢を身につけた管理栄養士・栄養士を輩出するために各種の研修等に取り組むものである。事業の柱は、卒後教育制度として実施される諸種の研修事業であり、基幹研修事業と拡充研修事業とからなる。

これらの事業は、何れも県民の健康増進、疾病予防、疾病の重症化予防等の目的を達成するための手段と位置づけられている。

平成 25 年度の主な研修事業は次の通りである。

### (1) 基幹研修事業

卒後教育の基幹研修は、すべての管理栄養士・栄養士を対象として実施し、専門職業人としての強靱な基礎知識を身につけさせることを目的とする。

#### ・生涯学習研修会

専門職業人として、日々進歩する医学・栄養学に立脚した「栄養管理技術」「栄養指導」や「日本人の食事摂取基準」などの必要不可欠な基礎知識を学ぶことができる基幹研修の中軸をなす研修会である。初任者から中堅者を対象に、最新の診療ガイドラインにそった食事療養、栄養管理の基礎を学ぶ場でもある。

25 年度の研修内容は、「食事摂取量調査」「栄養素の代謝」「栄養補給法」「栄養スクリーニングと栄養評価（アセスメント）」、「栄養管理計画」「栄養管理・栄養ケアマネジメントの実際」、「How to 栄養指導（個人）・集団栄養指導」「保健指導の指導力アップ講座」「食事計画と献立作成、食材料管理」「食品衛生管理(リスクマネジメント)」「健康管理に生かす食品の表示と食品機能」「災害時緊急体制」「糖尿病 UP to Date」「寝たきりにさせないための栄養とリハビリ～サルコペニア予防と口から食べる事の重要性について～」 「学会発表のためのスキル習得講座」等を県内の 3 地区（福岡、北九州、筑後）で 7 回開催した。

#### ・支部研修会

各職域に共通した管理栄養士・栄養士の基本的知識やスキルを維持向上するための基幹研修として県内の 4 地区（福岡、北九州、筑後、筑豊）において 4 回開催した。

「ロコモティブシンドロームとサルコペニア」「COPD と食事療法」「摂食機能訓練 栄養指標とし

での検査値の見方」「栄養スタッフのための摂食・嚥下リハビリテーションの知識と具体的な進め方」の4研修であった。

#### ・新人研修会

県内の新人（新たに資格を得たもの、または就業経験の短い者）を対象に講義やグループ討論などを行う研修会であり、福岡・北九州・筑後・筑豊の地区毎に開催する。平成25年度は「これだけは知っておきたい、様々な場面で役立つ救急対応・栄養士にもできる救急蘇生」「キャリアアップできる！マナーを習得しよう」など5年未満の新人や専門職業人としての基本に必要な研修を行った。

#### （2） 拡充研修事業（特定職域その他の研修事業）

拡充研修は、基幹研修を補完し発展させるものである。医療・福祉・公衆衛生・勤労者支援・研究教育・学校健康教育・地域活動の7職種の業務特性に即した専門性の向上および各種課題に応じた研修会を開催した。

#### ・医療事業部研修会

医療に関わる管理栄養士・栄養士や栄養・食事関連の医療従事者を対象として研修会を実施した。高齢化社会を迎える中、疾病構造の変化や食事療法の複雑多様化が進んでおり、病態や食事療法についての最新情報やより高度な知識・技術を学ぶことにより、個々の傷病者に対応した適切な食事の提供や栄養食事指導ができる能力・技術を身につけさせることを目的とした研修会を開催した。

平成25年度事業

「病院栄養士研修会 入院時食事療養留意点 アウトカムの出せる栄養管理を目指せ！がんの栄養管理はこうだ！」

「病態栄養実践講座1 根拠に基づいた栄養管理の達人になる！検査値に基づいた栄養管理の実際—低栄養から静脈・経腸栄養までかかわれるために—」

「病態栄養実践講座2 腎疾患と栄養管理」

北九州「循環器疾患と栄養管理、症例検討」

筑後 「摂食・嚥下障害の栄養リスクマネジメント」

#### ・福祉事業部研修会

福祉施設に従事する管理栄養士・栄養士、福祉施設職員などを主たる対象として研修を実施するので、研修内容は 乳幼児、高齢者及び障がい者など、それぞれに対応した適切な栄養管理・栄養指導を行うことができる技能を身につけさせることを目的として研修会を開催した。

平成25年度事業

「栄養マネジメントファーストステップ研修会」

「栄養マネジメントフォローアップ研修会」

「食育実践講座 乳幼児の食育」

#### ・公衆衛生事業部研修会

県内の行政機関に勤務する管理栄養士・栄養士（行政栄養士）を主たる対象として研修会を実施するので研修内容は、事業の企画能力、乳幼児から高齢者まで個々のライフスタイルに応じた適格な栄養指導ができる能力・技術を身につけさせることを目的として研修会を開催した。

平成25年度事業

「胎児期からの食育」

#### ・勤労者支援事業部研修会

集団健康管理（防衛施設給食、矯正施設給食、産業給食、食品メーカーの研究・開発、食品企業の広報、スポーツ選手の栄養管理、外食産業でのメニュー開発等）を業務とする管理栄養士・栄養士を主たる対象として研修会を実施した。

研修内容は、大量調理を考慮した美味しい献立の開発、衛生管理に関する最新情報の取得、効率的かつ経済的な食材の探求、集団を対象としたプレゼンテーション技能を身につけさせることを目的として開催した。

平成 25 年度事業

「健康な勤労者に対する食育」

#### ・研究教育事業部研修会

県内の管理栄養士・栄養士養成施設や大学、食品会社等の研究所に所属する管理栄養士・栄養士（研究教育栄養士）を対象として研修を実施した。

研修内容は、高度専門職業人教育の技法に関する知識・方法論、および、教育対象たる現代の大学生の価値観や生活全般の理解につながる内容等を取り上げた。

平成 25 年度事業

「管理栄養士・栄養士の教育研究のあり方」

#### ・学校健康教育事業部研修会

主として栄養教諭・学校栄養職員として県内の学校・共同調理場に従事する管理栄養士・栄養士を対象に研修会を実施するもので、研修内容は、食を通して児童生徒の健康の保持増進に寄与するため、児童生徒を対象とした食育及び給食管理などに関する高度の専門的知識・技能を身につけさせることを目的として開催した。

平成 25 年度事業

「集団給食調理技術のスキルアップ研修会」

#### ・地域活動事業部研修会

地域住民の身近な食の専門職として地域に根ざした活動を行う管理栄養士・栄養士（地域活動栄養士）を主たる対象として研修会を実施した。

研修内容は、活動対象が妊産婦・乳幼児・学童・思春期・青年期・壮年期・高齢期まで幅広いため、一人ひとりの一生に関わる身近な存在として、年齢や状況に応じたきめ細かな栄養指導・食事療養ができる能力を身につけさせることを目的として開催した。

平成 25 年度事業

「保健指導の指導力アップ講座」生涯学習

### （3）研修に関わる付随事業

#### ・「病院等栄養管理の基本と実際」の刊行

平成 25 年 1 月に改訂した「病院等栄養管理の基本と実際」の研修会での活用、管理栄養士・栄養士への頒布・販売をこれまでどおり実施した。

#### ・研修会情報の提供（広報部）

当会主催の研修会情報を「研修会案内」として奇数月に発刊し、会員及び県民の研修機会の拡大を図る事を目的とした。

1. 奇数月（年 6 回）の発行及び会員への送付を行った。

2. 研修会案内とともに送付する「栄養ふくおか」では、栄養に関するトピックス、県内に勤務する管理栄養士・栄養士の紹介などを掲載した。

### 3. 健全な食生活のための県民の自律の支援（県民支援部）

本事業は、生涯を通じた食育や健康づくり、生活習慣病予防等を目的に地域に密着して実施するもので、講演会、食生活診断、栄養指導、調理実習、展示等を通して、正しい知識の普及と実践への支援を進める目的で事業を行った。

また、疾病の重症化予防や寝たきり予防、高齢者の低栄養等を改善する介護予防事業及び食事療養を必要とする傷病者への栄養食事指導を行うことによりQOLの向上を高める等、食と栄養の指導や支援を通して県民の公衆衛生の向上に寄与することを目的として事業を行った。

平成24年度の事業は以下の通りである。

### (1). 栄養ケア・ステーション事業

栄養ケア・ステーションは、市町村や医療機関（診療所）、社会福祉施設等から栄養に関する業務について協力する事業であり、地域住民の健康維持・増進及び疾病予防・治療に寄与することを目的とするもので、25年度の主な実施内容は、以下の通りである。

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| ① 高齢者食生活改善事業（北九州市）    | ② 高齢者個別指導（北九州市）       |
| ③ 食生活改善推進事業（志免町）      | ④ 妊婦教室（北九州市）          |
| ⑤ 栄養士会クッキングセミナー       | ⑥ きたきゅう健康づくり応援店アドバイザー |
| ⑦ 筑紫野市食生活改善推進員講師養成講習会 | ⑧ 講師派遣                |

### (2). イベントにおける栄養相談事業

県民が多く集まる機会（イベント）において栄養相談・食事指導を行い、県民の食の自律を図るものであり対象は県民一般である。

#### ・健康21世紀福岡県大会

県民の自主的健康づくりを支援・健康寿命の延伸を旨とし、福岡県と県内の健康づくり関係団体が連携して開催した。筑豊支部担当で、10月6日（日）イオンモール直方にて実施。

栄養相談、食事バランスチェック（SAT システムを利用した食事チェックを行った）来場者250名

#### ・地域健康フェア

市町村・医師会・薬剤師会・自治会・地域諸団体と連携のもと、食育推進や生活習慣病の予防・治療について地域住民の意識向上を目指して、実施した。

#### ・市民糖尿病教室

糖尿病及び合併症予防に関する正しい知識の普及を図ることにより、QOLの高い暮らしの実現を目指して毎年、糖尿病週間に医師会、栄養士会、薬剤師会、糖尿病療養指導士会等との協働のもと、福岡、北九州、筑後、筑豊の4地区で開催した。

#### ・歯の健康教室

口腔の健康づくりに関する正しい知識の普及、歯科疾患を予防する適切な習慣の定着を目的として開催した。

### (3). 市民公開講座（セミナー）

県民の健全な食生活を自立的に営む力を育むために、栄養の専門職である管理栄養士・栄養士が知識や知恵、実用技術の普及を行う事業である。

#### ・食育推進実践セミナー

食育の推進をテーマに、アクロス福岡において、年に12回（毎月第2火曜日）講演を行い、広く県民に対し、食生活の質の向上、食事を含む生活習慣の見直しと改善に役立つ知識や知恵、実用技術の普及を行なった。本年度は参加者の増加がみられた。時節を捉えたテーマの選び方や、講師の入れ替わりなどを積極的に図り、常に新鮮な内容になるべく努力していきたい。

#### ・健康セミナー

本会および看護協会、放射線技師会、臨床検査技師会で構成された福岡県医療団体協議会が公開講座を行う。医療に携わる専門家が、県民と一緒に健康増進、疾病の重症化予防をより深く考える機会とするもので、25年度のテーマは「高齢者医療」～認知症を支える～2月15日に開催され、参加者は146人であった。高齢者、認知症との関わりがテーマであったが、栄養士

会の会員の参加が少なかったのは残念だった。超高齢化社会についての対策に栄養士も他職種と積極的に連携して協同すべきではないだろうか。

また、「食と健康推進フォーラム」は、県民が自主的に取り組むことができる健康づくりを支援し、県民の健康に寄与することを目的に1月31日に開催され、参加者392人と「食と健康」についての県民の意識の高さがうかがえた。

#### ・県民料理教室

本年度の新規事業で、県民に対して、「高齢者の摂食嚥下に対応した料理教室」という位置付けで、地域活動事業部が主体で企画運営をした。初年度であったためか、県民に周知不十分で栄養士会々員の参加のほうが多かった。4地区で開催したが、後期日程になるにつれ県民の参加も若干増えてきたのは、次年度に向けて希望ももてる。費用対効果も含め、継続・定着させるべく努力をしていきたい。

### (4) 栄養情報コミュニケーション事業 (広報部)

#### ・ホームページ事業

平成25年6月にリニューアルを行い、食育や健康づくりなど県民を対象とした地域イベントや郷土料理を掲載した。また、会員にむけたスタッフ募集では、地域における栄養ケア活動への積極的な参加を呼び掛ける。

活動内容としては

1. 定期更新作業（奇数月 年6回）、必要な場合には随時更新
2. 「栄養ふくおか-Web版-」の掲載
3. 研修会システムの保守・運営
4. 当会ホームページ上での「研修会申込みシステム」の検討会を実施した。
5. 今年度の訪問数は、17,331件（49.7件/日）と前年より4.7%増大した。

## 4. 県民の健康を育む食環境の整備

県民の健全な食生活の形成に寄与しうる地域社会の諸資源（人と物と仕組み）を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させることにより、望ましい食環境の整備を図る事業である。この事業は、①栄養・食生活の改善を支援する保健、医療、福祉及び教育等の分野の各職種や有識者、自治体等の連携・協働関係の構築、②適正な食生活を応援する公共又は民間の諸制度の推進・運用改善の取り組みなどの柱からなる。これは県民の健全な食生活を支える地域社会づくりの事業でもある。

### (1) 連携・協働関係の構築事業

地域住民の健全な食生活を支える食環境を整備するため、これに資する地域基盤の各種委員会や協議会に参画し、その連携と活動の強化により公衆衛生の向上に寄与しようとするものである。

平成25年度の主な委員会活動・会議参画は以下のとおりである。

生活習慣病対策検討委員会、いきいき福岡健康づくり、福岡県介護予防市町村支援委員会および専門部会、福岡県医療審議会、ふくおかの食と農推進会議、福岡県学校給食審議会、福岡市食育推進会議、福岡県医療団体協議会、福岡県歯科保健医療推進協議会、全国高等学校総合体育大会福岡県実行委員会、福岡市学校給食運営委員会、福岡市第2給食センター整備検討委員会、福岡市保健福祉審議会、北九州市保健所運営協議会、北九州市健康づくり懇話会、北九州市食育推進懇話会、北九州市高齢者介護の質の向上委員会など

以上